

日本臨床麻酔学会誌論文投稿チェックリスト

1. 投稿論文について

- 臨床麻酔に直結した研究かこれに関連した基礎的研究である。
- ヘルシンキ宣言の精神に則って行われ、倫理的に配慮されている。対象となる個人情報への配慮が適切になされている。
- 適切な形で説明と同意取得がなされた上で研究が実施されている。
- 投稿論文は、その内容が過去に他誌に掲載されておらず、今後も掲載予定がない。

投稿論文は、下記のうち何れかであること(該当するものにチェックしてください)：

- ヒトを対象とした前向き研究で、実施前に患者の許諾と所属施設の承認があり、その旨の記述が本文中にある。
- ヒトを対象とした後ろ向き研究・症例報告で、患者の許諾と所属施設の承認があり、その旨の記述が本文中にある。
- ヒトを対象としていないが、臨床麻酔に直結した研究・基礎的研究である。

2. 誓約書について(PDF添付もしくは郵送)

- 論文題名が付記されている。
- 著者全員の署名・捺印及び日付が記載されている。

3. 原稿の形態について

- A4サイズで、12ポイントの横書きである。
- ページ番号を付けている。
- 第1ページに日本語(英文投稿の場合は英語)表題、著者名(6名まで)、所属機関名、著者連絡先、原稿枚数、字数、図表点数が記載されている。
- 第2ページに和文要旨(300字以内；英文投稿の場合は200語以内の英文抄録)、キーワード(5語まで)が記載されている。
- 第3ページ以降、本文、参考文献、200語以内の英文抄録(表題、著者名、所属機関名、キーワードを含む；英文投稿の場合は日本語の表題、著者名、所属機関名、住所、300字以内の要旨、キーワード)が記載されている。
- 要旨キーワードの語数と抄録キーワードの語数が一致している。(※J-STAGE公開の必須事項)
- 字数が制限(総説：12,000字、講座・原著論文：10,000字、症例報告・紹介：6,000字、短報：3,000字、コラム：1,000字)内におさまっている。英文の場合は、総説・講座・原著：3,000～4,000語程度、症例報告・紹介：1,000～1,500語程度、短報：500～1,000語程度となっている。
- 図表は1点につき1枚の用紙で、印刷に不具合がないクオリティーである。
- 別紙に図表の説明が記載されている。また、本文中に挿入箇所が明記されている。

4. 用語表記等について

- ワードプロソフトを使用し、記述様式が基準を満たしている。
- 外国語の用語等は、必要に応じて原語表記で記述している。
- 薬品名は一般名で表記されている。商品名は初出のみで括弧書きされている。
- 数字はアラビア数字を用い、単位表記がSI単位系に準じている。
- その他の用語は、『麻酔科学用語集』に準じている。
- 英文(全文、抄録とも)は、ネイティブチェックを受けている。

5. 引用文献について

- 引用した文献は妥当である。
- 著者名の数、ピリオド、カンマ等の記号の記載様式が規定に準じている。

6. 送付書類の内容について

- 手元に原稿データの控えが用意されている。
- 論文原稿のファイル(原則としてテキスト部分はMicrosoft Word、図表はMicrosoft Excel、PowerPointまたはJPEG形式で保存)は適切なファイル形式で作成している。

7. 投稿する学会・研究会について(必ず1つチェックして下さい)

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 日本臨床麻酔学会 | <input type="checkbox"/> 日本静脈麻酔学会 | <input type="checkbox"/> 日本医学シミュレーション学会 |
| <input type="checkbox"/> 日本臨床モニター学会 | <input type="checkbox"/> 日本麻酔・医事法制研究会 | <input type="checkbox"/> エピドラスコピー研究会 |